

作成日：2008年04月11日

改訂日：2025年12月19日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	水性パーキングラインカラー塗料 道路線引き用
仕様	色：黒（ライン消し）
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途及び使用上の制限	家庭用塗料
整理番号	M260227

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康に対する有害性	発がん性	区分2
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	呼吸器	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 長期（慢性）	区分3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語（絵表示）



##### 注意喚起語

警告

##### 危険有害性情報

長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ  
長期継続的影響によって水生生物に有害  
発がんのおそれの疑い

##### 注意書き

###### 安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
環境への放出を避けること。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

###### 応急措置

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

###### 保管

施錠して保管すること。

###### 廃棄

内容物、容器の廃棄は、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物  
化学名又は一般名 合成樹脂エマルジョン塗料  
成分及び濃度

成分名	化学式または構造式	濃度	官報公示整理番号	CAS番号
水(H <sub>2</sub> O)	H <sub>2</sub> O	30~40%	化審法：- 安衛法：-	7732-18-5
カーボンブラック	C	1%未満	化審法：- 安衛法：-	1333-86-4
その他	-	60~70%	化審法：- 安衛法：-	-

### 4. 応急措置

**吸入した場合** 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合** 付着物を布にて素早く拭き取ること。  
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
溶剤、シンナーは使用しないこと。

**眼に入った場合** 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。  
直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
まぶたの裏まで完全に洗うこと。

**飲み込んだ場合** できるだけ早く医師の診断を受けること。  
誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。  
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

### 5. 火災時の措置

**消火剤** 水  
炭酸ガス  
泡  
粉末  
乾燥砂  
霧状強化液

**特有の消火方法** 周辺火災に対に対応した、消火活動を行うこと。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。  
屋内では換気をしっかり行うこと。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。

周囲を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。

### 環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意すること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐこと。

水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓すること。

### 安全取扱い注意事項

取扱後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持込まないこと。

### 保管

日光の直射を避けること。

通風のよいところに保管すること。

漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

盗難防止のために施錠保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

0℃以下になる場所に保管しないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

成分名	厚生労働省(安衛法) 管理濃度	産業衛生学会 許容濃度	ACGIH 許容濃度
カーボンブラック	データなし	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵1mg/m <sup>3</sup> 総粉塵4mg/m <sup>3</sup>	TWA 3 mg/m <sup>3</sup> (I),STEL -

### 設備対策

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

### 保護具 呼吸用保護具

防塵マスク（一般粉じん作業DS1～DS3）を着用する。

### 保護具 手の保護具

不透過性保護手袋

塗装作業時 使い捨て（ポリエチレン製 ニトリルゴム製）手袋など 汚れ防止効果としての着用

洗浄作業時 耐溶剤性手袋（ポリウレタン製・ブチルゴム製など）

### 保護具 眼の保護具

取扱いには保護メガネを着用すること。

### 保護具 皮膚及び身体の保護

取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

### 注意事項

この製品自体、防塵マスク着用の義務はないが並行して行われる工事など作業環境を考慮し、保護具を着用すること。

酸欠が懸念される環境では専用の呼吸用保護具を装着すること。

施工道具を有機溶剤を使用して洗浄する場合、耐溶剤性手袋を着用する。

厚手の耐溶剤性手袋でも有機溶剤は短時間で透過するので、塗装器具などを洗浄する場合は、トング・ハンガー・ブラシなどの道具を用い手袋を溶剤につけないように作業すること。

漏洩物の回収作業など、5分以上連続で溶剤に直接接触して作業する場合は、中に使い捨て手袋を装着し、二重手袋で使用するとよい。

耐溶剤性手袋は使用後、吊り下げて風乾し再使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黒色
臭い	微臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100℃(参考値)
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	情報なし
引火点	引火しない。
自然発火点	自然発火しない。
分解温度	情報なし
pH	7～9
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	1.42
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性等)	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性なし
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合はCOなどの有害性ガスが発生する恐れがある。
その他のデータ	情報なし

## 1 1. 有害性情報

この製品自体の有害性試験は行っていない。「2. 危険有害性の要約」に準じ、取り扱うこと。

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

## 1 2. 環境影響情報

この製品自体の有害性試験は行っていない。「2. 危険有害性の要約」に準じて取り扱うこと。

水生環境有害性 短期（急性）	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に基づきオゾン層破壊物質（ODS）とされる化合物を含有しない。
その他のデータ	漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
廃塗料、廃溶剤、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者に委託契約して処理を  
すること。  
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する  
法律に従って処理を行うか、委託をすること。  
ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と  
受託契約を結び処理すること。

#### 汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。  
空容器・包装等よりサイクルを推奨すること。  
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

### 14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に  
行うこと。

#### 国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
等級（クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

#### 国内規制

陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は法令の輸送について定めるところに従うこと。 荷送り人は運送業者に運搬注意書(イエローカード)を交付すること。
航空規制情報	航空法の既定に従う
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	がん原性物質(安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基 発1226第4号) 該当なし 皮膚等障害化学物質(安衛則第594条の2、令和6年4月1日施行) 該当なし 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表 第9) カーボンブラック(政令番号:130)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非危険物
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
家庭用品品質表示法	

## 16. その他の情報

### 参考文献

NITE独立行政法人製品評価技術基盤機構

労働安全衛生法政省令改正に対応したSDS記載例 改訂第1版 (一社)日本化学工業協会  
「GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック」改訂第4版 (一社)日本塗料工業会

### その他

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である  
場合を含みます。詳細データが必要な時は弊社営業部にお問い合わせください。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが含有量、物理化学  
的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の  
取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上  
ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。